

平成24年度 **中間報告書**

(第1四半期・第2四半期)



証券コード 7011

 **三菱重工**

この星に、たしかな未来を

概況

株主の皆様には、平素より格別のご支援、ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成24年度第2四半期連結累計期間の概要についてご報告申し上げます。

取締役会長 佃 和夫

取締役社長 大宮英明

1. 経済情勢

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国における景気回復速度の緩慢化、欧州における政府債務危機による景気低迷、中国・インドにおける景気拡大テンポの鈍化などにより、全体的には低成長となりました。

我が国経済は、復興関連需要などを背景として、国内需要は緩やかに回復しつつありますが、円高の長期継続や世界経済の減速等によって、全体として回復の動きに足踏みがみられました。

2. 連結経営成績の概要

このような中、当第2四半期連結累計期間の当社連結業績は、受注高が1兆52億円、売上高は1兆3,254億円、営業利益は472億円、経常利益は304億円、税金等調整前四半期純利益は277億円となりました。また、税金等調整後の四半期純利益は191億円となりました。

当年度の中間配当金につきましては当第2四半期までの累計決算実績及び年間の業績見通しを考慮し、平成24年10月31日の取締役会の決議により、1株につき3円の配当とし、平成24年12月5日からお支払いを開始することとさせていただきます。

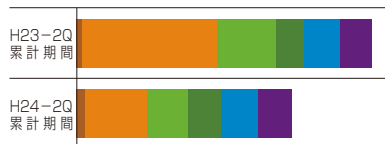
【連結受注高・売上高・営業利益・経常利益・四半期純利益】

	平成23年度 第2四半期累計期間 (平成23年4月1日～ 平成23年9月30日)	平成24年度 第2四半期累計期間 (平成24年4月1日～ 平成24年9月30日)	増減額
受注高	14,031億円	10,052億円	△3,979億円
売上高	12,936億円	13,254億円	+317億円
営業利益	731億円	472億円	△259億円
経常利益	456億円	304億円	△152億円
四半期純利益	398億円	191億円	△207億円

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)

部門別の概況

受注高 10,052 億円



	(H23-2Q累計)	(H24-2Q累計)
■ 船舶・海洋	248億円	392億円
■ 原動機	6,492億円	2,989億円
■ 機械・鉄構	2,886億円	1,970億円
■ 航空・宇宙	1,306億円	1,586億円
■ 汎用機・特殊車両	1,747億円	1,816億円
■ その他	1,574億円	1,602億円
(うち冷熱)	877億円	787億円
(うち工機)	311億円	226億円
(うちその他)	384億円	588億円
消去または共通	△ 223億円	△ 306億円

■ 船舶・海洋

LNG船等の受注により、前年同期を上回った。

■ 原動機

前年同期に国内電力不足対応のガスタービンや台湾向け大型石炭発電プラントの受注があり、また、原子力発電プラントの定期検査工事等が減少したことにより、前年同期を下回った。

■ 機械・鉄構

前年同期に受注規模が大きかった製鉄機械、化学プラントが減少したことなどにより、前年同期を下回った。

■ 航空・宇宙

防衛関係の増加により、前年同期を上回った。

■ 汎用機・特殊車両

北米向けフォークリフトの増加等により、前年同期を上回った。

■ その他

(冷熱) パッケージエアコン、ルームエアコンの減少により前年同期を下回った。
(工機) 前年同期を下回った。

売上高 13,254 億円



	(H23-2Q累計)	(H24-2Q累計)
■ 船舶・海洋	1,584億円	1,326億円
■ 原動機	4,422億円	4,790億円
■ 機械・鉄構	1,766億円	2,041億円
■ 航空・宇宙	2,088億円	1,903億円
■ 汎用機・特殊車両	1,861億円	1,938億円
■ その他	1,419億円	1,870億円
(うち冷熱)	855億円	791億円
(うち工機)	224億円	283億円
(うちその他)	339億円	795億円
消去または共通	△ 207億円	△ 616億円

■ 船舶・海洋

当期は、フェリー4隻、自動車運搬船3隻、巡視船2隻、LPG船1隻、RO-RO船1隻他、合計14隻を引渡した。

■ 原動機

ガスタービンやコンベンショナルなどの火力発電プラントの増加により、前年同期を上回った。

■ 機械・鉄構

化学プラント、製鉄機械、環境設備の増加等により、前年同期を上回った。

■ 航空・宇宙

民間航空機、宇宙関係が増加したものの、防衛関係の減少により、前年同期を下回った。

■ 汎用機・特殊車両

北米向けフォークリフトの増加等により、前年同期を上回った。

■ その他

(冷熱) パッケージエアコン、ルームエアコンの減少により前年同期を下回った。
(工機) 歯車機械を中心に増加し、前年同期を上回った。

営業利益 472 億円



	(H23-2Q累計)	(H24-2Q累計)
■ 船舶・海洋	9億円	△ 63億円
■ 原動機	650億円	436億円
■ 機械・鉄構	70億円	76億円
■ 航空・宇宙	△ 7億円	7億円
■ 汎用機・特殊車両	12億円	49億円
■ その他	67億円	56億円
(うち冷熱)	21億円	△ 4億円
(うち工機)	13億円	22億円
(うちその他)	32億円	38億円
消去または共通	△ 70億円	△ 90億円

■ 船舶・海洋

円高の進行等による受注工事損失引当金の計上により、損失が拡大した。

■ 原動機

前年同期に高採算案件が集中していたことや、原子力発電プラントの再稼働遅延による影響等により、前年同期を下回った。

■ 機械・鉄構

売上増加により、前年同期を上回った。

■ 航空・宇宙

民間航空機の採算改善により、黒字化した。

■ 汎用機・特殊車両

円高が減益要因となったが、フォークリフトの売上増加に伴う増益効果に加え、フォークリフト、ターボチャージャのコスト改善、エンジンの機種絞込等の採算改善活動により、前年同期を上回った。

■ その他

(冷熱) 円高の進行、売上減少により、前年同期を下回った。
(工機) 売上増加による増益効果等により、前年同期を上回った。

1：表中の億円表示については、単位未満を切捨てています。

2：当年度より各セグメントの営業損益の算定方法を変更しており、前年同期との比較は変更後の算定方法により組み替えた数値により実施しています。

四半期連結決算の概要

四半期連結貸借対照表の要旨

(単位：億円)

資産の部	平成23年度末	平成24年度
	(平成24年3月31日現在)	第2四半期末 (平成24年9月30日現在)
流動資産	26,390	26,424
現金預金	2,622	4,051
売上債権	9,680	8,049
たな卸資産	10,534	10,335
繰延税金資産	1,807	1,765
その他流動資産	1,744	2,222
固定資産	13,249	12,537
有形固定資産	7,975	7,969
無形固定資産	253	285
投資その他の資産	5,020	4,282
投資有価証券	3,090	2,447
繰延税金資産	111	108
その他	1,818	1,726
資産合計	39,639	38,962

(平成23年度末) (平成24年度第2四半期末)

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 17,546億円 17,715億円

負債及び純資産の部	平成23年度末	平成24年度
	(平成24年3月31日現在)	第2四半期末 (平成24年9月30日現在)
流動負債	17,146	17,521
買入債務	6,511	6,160
短期借入金	2,840	3,752
前受金	3,992	3,853
その他流動負債	3,802	3,753
固定負債	9,429	8,460
社債	2,500	2,000
長期借入金	5,531	5,104
繰延税金負債	178	92
その他固定負債	1,219	1,263
負債合計	26,576	25,981
株主資本	12,866	12,957
資本金	2,656	2,656
資本剰余金	2,039	2,039
利益剰余金	8,224	8,315
自己株式	△ 54	△ 54
その他の包括利益累計額	△ 315	△ 488
その他有価証券評価差額金	220	67
繰延ヘッジ損益	0	5
為替換算調整勘定	△ 536	△ 562
新株予約権	18	22
少数株主持分	494	489
純資産合計	13,063	12,980
負債及び純資産合計	39,639	38,962

四半期連結損益計算書の要旨

(単位：億円)

	平成23年度	平成24年度
	第2四半期累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	第2四半期累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
売上高	12,936	13,254
営業費用	12,204	12,781
営業利益	731	472
営業外収益	82	62
営業外費用	358	230
経常利益	456	304
特別利益	280	68
特別損失	22	95
税金等調整前四半期純利益	714	277
法人税等	317	84
少数株主利益 (△は損失)	△ 1	1
四半期純利益	398	191

(平成23年度第2四半期累計期間) (平成24年度第2四半期累計期間)

(注) 1株当たり四半期純利益 11円89銭 5円71銭

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：億円)

	平成23年度	平成24年度
	第2四半期累計期間 (平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで)	第2四半期累計期間 (平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,066	1,314
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 261	△ 210
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 885	377
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 17	△ 46
現金及び現金同等物の増減額	△ 98	1,435
現金及び現金同等物の期首残高	2,888	2,546
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,790	3,981

(表中の億円表示については、単位未満切捨て)

会社の概要

概要

社名	三菱重工業株式会社	資本金	265,608百万円 (平成24年9月30日現在)
本社	東京都港区港南二丁目16番5号 〒108-8215 電話番号03-6716-3111	従業員数	32,011名 連結：68,820名 (平成24年9月30日現在)
創立	明治17年7月7日	ホームページ	http://www.mhi.co.jp
設立	昭和25年1月11日		

役員

(平成24年9月30日現在)

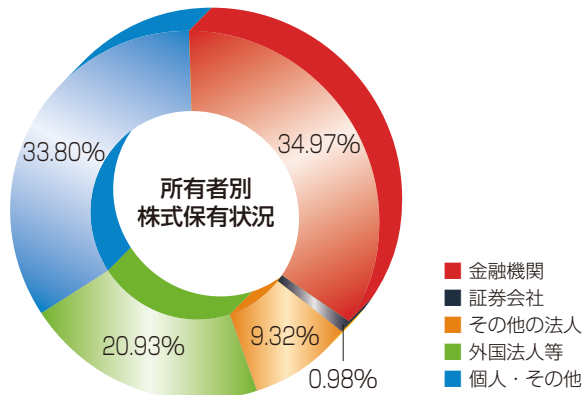
*取締役会長	佃 和夫	常勤監査役	矢神 俊郎
*取締役社長	大宮 英明	常勤監査役	井須 英次
*取締役副社長執行役員	宮永 俊一	監査役	野村 吉三郎
*取締役副社長執行役員	佃 嘉章	監査役	畔柳 信雄
*取締役常務執行役員	原 壽	監査役	上原 治也
*取締役常務執行役員	阿部 孝	執行役員	伏屋 紀昭
*取締役常務執行役員	菱川 明	執行役員	山内 澄
*取締役常務執行役員	西澤 隆人	執行役員	吉田 慎一
*取締役常務執行役員	和仁 正文	執行役員	平本 康治
*取締役常務執行役員	前川 篤	執行役員	児玉 敏雄
*取締役常務執行役員	正森 滋郎	執行役員	堀口 幸範
*取締役常務執行役員	小林 孝	執行役員	相馬 和彦
*取締役常務執行役員	鯨井 洋一	執行役員	藤山 彰邦
*取締役常務執行役員	野島 龍彦	執行役員	山崎 育邦
取締役執行役員	有原 正彦	執行役員	花田 剛
取締役執行役員	水谷 久和	執行役員	馬淵 洋三郎
取締役	坂本 吉弘	執行役員	廣江 睦雄
取締役	小島 順彦	執行役員	船戸 崇
取締役	クリスティーナ・アメージャン	執行役員	小池 伸彦
		執行役員	門上 英仁
		執行役員	星野 直仁
		執行役員	岩崎 啓一郎
		執行役員	橋本 州史
		執行役員	大仲 輝昌
		執行役員	樹神 幸夫
		執行役員	安藤 健司
		執行役員	長谷川 浩司
		執行役員	大久保 憲一
		執行役員	西妻 多喜男
		執行役員	石井 善之
		執行役員	梶原 輝文

(*印は代表取締役)

株式の状況

(平成24年9月30日現在)

発行可能株式総数	6,000,000,000株
発行済株式総数	3,373,647,813株
株主数	324,459名



● 最近の主なニュースとお知らせ

H-IIAロケット21号機・H-IIBロケット3号機打上げ成功

5月18日、衛星「しずく」等を搭載したH-IIAロケット21号機が、また、7月21日には宇宙ステーション補給機「こうのとり」3号機を搭載したH-IIBロケット3号機が種子島宇宙センターから打上げられ、正常に飛行しました。H-IIBロケットの打上げ輸送サービスが宇宙航空研究開発機構より移行されたことを受け、当社は国内外からの商業衛星をはじめとする幅広い打上げニーズに応えることにより、世界市場の積極開拓を目指していきます。



H-II Bロケット3号機

CO₂回収・貯留一貫実証試験をスタート

当社が、米国大手電力会社サザンカンパニーと共同で進めている石炭火力発電所排ガスからのCO₂回収・貯留実証試験で、回収したCO₂の地下への注入が始まりました。排ガス中に煤塵などの不純物が多い石炭火力発電所を対象に、500トン/日規模のCO₂回収と貯留を一貫して行うのは今回が世界で初めてとなります。当社はこれらの成果をもって、他社に先駆け信頼性の高い製品を提供し、地球温暖化問題の解決に貢献していきます。



CO₂回収実証プラント

● 当社施設の紹介～皆様のご来館をお待ちしております～ ●

長崎造船所史料館へのご案内

日本最古の工作機械や我が国最初の国産陸用蒸気タービン、「創業者岩崎彌太郎の生涯」とそれに続く岩崎家3代社長による「三菱のあゆみ」や「三菱の経営理念」などを展示した岩崎家コーナーなど、安政4年（1857年）に長崎造船所前身の長崎鎔鉄所建設が着手されたときから現在までの900点あまりの史料を展示しています。（入場無料、要予約）

◆皆様のご来館をお待ちしております。

所在地：長崎市館の浦町1番1号

アクセス：【バス】長崎駅から立神、西泊、神の島行きで「館の浦」下車、バスの所要時間は約15分 【タクシー・自家用車】長崎空港から約50分 長崎駅前から約10分（自家用車で来館される場合は、三菱病院駐車場（有料）をご利用ください。）なお、お越しの際は「史料館門」よりご入場ください。

開館時間：午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

休館日：土・日、祝日及び長崎造船所休業日

ご予約・お問い合わせ：電話番号 095-828-4134



三菱みなとみらい技術館へのご招待

明日を担う青少年たちが科学技術に触れ、夢を膨らます場となることを願い開設された三菱みなとみらい技術館は、平成6年の開館以来、計200万人以上のお客様をお迎えしています。航空宇宙、海洋、環境・エネルギー、交通・輸送、くらしの発見、技術探検の6つのゾーンで参加体験型の展示をお楽しみください。

◆皆様のご来館をお待ちしております。

所在地：横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号 三菱重工横浜ビル内

アクセス：みなとみらい線「みなとみらい」駅5番けやき通り口より徒歩3分

JR根岸線/横浜市営地下鉄「桜木町」駅より徒歩8分

開館時間：午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日：毎週月曜日（ただし、月曜日が祝日の場合は翌日）、年末年始及び特定休館日

（平成24年12月29日（土）～平成25年1月4日（金）、2月12日（火）～23日（土））

お問い合わせ：電話番号 045-200-7351

ホームページ：<http://www.mhi.co.jp/museum/>



長崎造船所史料館へは入場無料です。ご来館の際は事前にご予約をお願いいたします。電話番号 095-828-4134

三菱みなとみらい技術館へのご招待券
有効期限：平成25年3月31日
（お一人一回）
見本
三菱重工横浜ビル内

工場見学会のご案内

第17回工場見学会を下記のとおり高砂製作所（兵庫県高砂市）で開催いたします。
多くの皆様のご応募をお待ちしております。

見学会概要

- ・見学場所 高砂製作所（兵庫県高砂市）
高砂製作所は、三菱重工のなかでも大型回転機械専門工場として大きな特長をもった事業所です。
暮らしや産業の基盤となる電力を支えるガスタービン、火力・原子力プラント用蒸気タービン、水車、ポンプなど、ここ高砂から送り出される製品は、国内のみならず広く世界で高い評価を得ています。
- ・実施日時 平成25年3月15日（金） 13:00～17:30（予定）
- ・対象者 当社株主の方（同伴者1名様まで可）
- ・集合・解散 JR神戸線 加古川駅（予定）
- ・参加費 無料（ただし、集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます。）



応募要領

- ・応募方法 右記のとおり郵便はがきに必要な事項をご記入の上、ご応募ください。
- ・締切日 平成24年12月31日（月）（当日消印有効）
- ・募集人数 80名様（同伴者を含む）

※お申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。
また、複数枚ご応募いただいた場合は1件とさせていただきます。
厳正な抽選の上、当選発表につきましては当選者へのご連絡（1月下旬発送予定）をもって代えさせていただきます。
その際、当日の運営等詳細を併せてご連絡いたします。
※ご応募により当社が取得する個人情報は、本工場見学会を実施する上で必要な限りにおいてのみ使用いたします。
※ご見学時は、バスの乗り降りや階段の昇り降りがあり、1時間程工場内をお歩きいただくこともございますのでご了承ください。
なお、ご高齢の方及び小学生以下の方のご参加の際には、同伴者をお願いする場合があります。

郵便はがき

50円切手

1088215

三菱重工業(株)
総務部・文書課
工場見学会係行

東京都港区港南
一丁目16番5号

あて名面

- 郵便番号
- 住所
- 電話番号
- 氏名
(ふりがなをご記入ください。)
- 性別
- 年齢
- 同伴者の氏名、性別、年齢、住所

裏面

お問い合わせ先

三菱重工業株式会社 総務部 文書課
電話番号：03-6716-3111（大代表）
8:45～17:30（土・日、祝祭日、当社休日を除く）

- 決算期……………3月31日
- 定時株主総会……………開催期 6月下旬
- 基準日……………定時株主総会議決権行使株主確定日
3月31日
期末配当金支払株主確定日
3月31日
中間配当金支払株主確定日
9月30日
その他の基準日
上記のほか必要ある場合は、取締役会の決議により
あらかじめ公告して設定
- 単元株式数……………1,000株

- 公告方法……………電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。
※電子公告掲載ウェブサイト
<http://www.mhi.co.jp>
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
……………三菱UFJ信託銀行株式会社
- 上記連絡先……………東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先及び電話照会先)
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話番号 0120-232-711 (通話料無料)

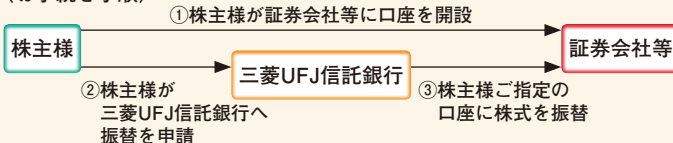
1. 株式に関する各種手続き

- (1) 株券電子化に伴い、株式に関する各種手続き（住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取・買増請求等）は、原則として、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録されている株式（証券会社等の口座に振替手続きがお済みでない株式）に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行で承りますので、上記連絡先（郵便物送付先及び電話照会先）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。

【ご注意】

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、三菱UFJ信託銀行の特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要があります。特別口座から証券会社等の口座への振替のお手続きにつきましても、三菱UFJ信託銀行で承ります。

(お手続き手順)



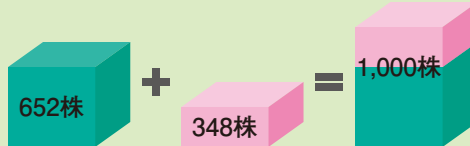
2. 単元未満（1,000株未満）株式をお持ちの株主様へ

単元未満株式はそのままでは株式市場で売買できませんが、法律上、単元未満株式の買取・買増制度が定められており、株主様は、当社に対して買取（株主様ご売却）あるいは買増（株主様ご購入）をご請求いただけます。お手続きについては、口座を開設されている口座管理機関（上記1. (1) 及び (2) 参照）にお問い合わせください。なお、**買取請求、買増請求の手数料は無料となっております。**

①**買取制度**：ご所有の単元未満株式を当社が市場価格で買取らせていただく制度です。

②**買増制度**：ご所有の単元未満株式と併せて1単元株式（1,000株）となるように、株主様に当社から不足分の株式を市場価格でご購入（買増し）いただく制度です。

（具体例）株主様が現在652株をご所有の場合、当社を通じて348株をご購入いただき、合計1,000株とすることができます。



ホームページ「株主・投資家の皆様へ」はこちらから、
<http://www.mhi.co.jp/finance/index.html>

検索はこちらから、

三菱重工 株主 検索

なお、当社のホームページでは、「株主・投資家の皆様へ」以外でも、経営理念や製品についての詳しい説明を掲載していますので、是非ご覧ください。